

## 新築移転を経験して

医療法人扶恵会 釧路中央病院 臨床検査科

当院は開院50周年を迎えた令和元年10月、釧路市幸町に地上6階、内科・消化器内科・泌尿器科・リハビリテーション科を標榜し、病床数147床で新築移転オープンし、通所リハビリテーション・透析・健診センターも新設いたしました。

数年前からの移転準備は当院各部署と建築デザイナー、建設会社等と何度も会議を重ね、検査室レイアウトはフルオーダーメイドとなりました。技師自らメジャー片手に検査台や棚の高さ、照明の位置、通路幅など検査導線を配慮して細部まで考え、検査機器・家具の選定・配置も全て技師で決めた事で、現在は検査業務が効率よく行える理想の環境とスタッフ一同大変満足しています。また旧検査室は狭く、換気がほぼ出来ずに衛生面でも苦勞した経験から、念願の換気システムを導入しました。この事が今、新型コロナウイルス対策に対応でき、働く上での安心感に繋がっています。

近距離移転の為に自衛隊への患者搬送依頼が叶わず、一年前より職員での搬送計画を進めることとなりました。移転当日は旧病院と新病院に検査技師を配置し患者様の体調に対応した緊急検査が迅速に行えるように備え、職員一丸となり臨んだ結果、トラブルなく予定時間を大幅に短縮して搬送を終える事ができました。多忙な日々ではありましたが、病院移転に携われたことは検査科スタッフ一同大変良い経験になったと思っています。



新病院は、外来フロア・入院病棟でも木の温もりあふれる暖かみのある雰囲気、随所の丹頂モチーフデザインでは釧路らしさを感じて頂けます。

病院職員は約170名、臨床検査科は臨床検査技師4名、助手1名で検査業務に当たっています。

生理検査は各種エコー検査を中心に心電図、血圧脈波検査、肺機能検査などを行い、検体検査は外部委託を使用しつつ緊急性の高い項目を院内で行い迅速な報告ができる体制をとっています。

これからも医師や看護師、他スタッフと共に地域の皆様に愛される「釧路中央病院」を目指し、地域医療の充実に臨床検査を通して取り組んで参りたいと考えております。

余談ですが、新病院では職員食堂が約10年ぶりに再開し、美味しく栄養バランスのとれた健康的なメニューがリーズナブルに食べられるようになり、検査科スタッフも昼食が楽しみな毎日です。

